

高橋かずちかの「**打開トーク**」vol.2



高橋かずちかが、東京都の社会的・経済的な「地盤沈下」に対処すべく、中野の現場に着目して「打開」の方向性を探る対談。地域の現場の試みからアイデアを得ていきます。

打開トーク第2弾は今、日本で最も注目を集めている人物、自民党幹事長の麻生太郎氏と中野の文化的魅力及び中野・東京の文化的な人材育成について対談を行いました。

麻生：中野といえばサンモールとブロードウェイだね。
最近、実は秋葉原よりも中野の魅力に注目してるんだよ。
中野には秋葉原に無い独特の文化の雰囲気があるね。
高橋：たしかに、中野は劇団やお笑い関連の方が集まる文化的な街ですね。魅力的な商店街やNPO法人もあります。私も中野の魅力を伝えるべく、「るぶ中野」のスポンサー集めに尽力したことがあります。

麻生：それが大事なんだよ。
まずは明確なブランドメッセージを構築し、日本全国や世界に向けて発信することが重要だね。人は注目されると今まで以上の力を発揮しちゃう。

高橋：魅力的なコンテンツは私たちの身近なところに多くありますからね。輝く原石のようなキラキラした人を見つけて応援することが楽しいです。

麻生：そうだ。国の根幹は人づくり。しっかりとした理念を持って取り組まないと。

高橋：単純な財政支援だけでなく、才能を発揮できる場・認める場の充実が必要ですね。才能ある人材が世の中に羽ばたくための「場」作りをしっかり支援していきたい。

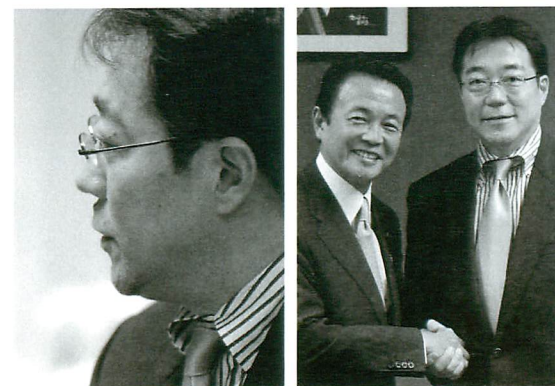
麻生：それ良いね。やっぱりこれからは秋葉原じゃなくて中野の時代になるかもしれないね。

しっかり盛り上げていこうだよ、高橋君。

高橋：地域の現場から東京の「打開」に向けて中野を通してきっかけを見出していきます。



衆議院議員
自由民主党幹事長
麻生太郎氏



今回の対談を通じて、文化的な魅力を高めるために、明確なブランドイメージの構築・発信、人材育成の一環としての「場」作りの重要性、秋葉原を超える中野の潜在能力が確認されました。今後の東京都の文化政策への提言に活用していきます。